

子どもが生き生きと 育つまち

基本目標 2

近年、全国的に少子化が進んでいます。このことは、これまで若い世代が多いとされてきた大和市においても同様です。

核家族化や地域コミュニティの希薄化などが進む中で、家庭における子育ての力の低下が指摘されています。家庭だけでなく地域全体で子どもの心身の健康と安全を守る取り組みを進め、子どもの健全な成長を支えていくことが大切です。

様々な生活経験や自然体験をする機会が減少している中で、子どもの生きる力が低下しているといわれています。

大和市は、家庭や地域、学校、関係機関と連携を図りながら、子どもの個性を伸ばし、可能性を広げる教育と、様々な体験の場を提供することによって、子どもが夢や目標をもって着実に成長できる環境をつくっていきます。

また、子育て中の家庭の孤立感や不安感を解消するために、多方面からの支援を行い、安心して子育てができる環境を整備していきます。

大和市は、「健康創造都市」の実現に向けて、発達に応じたきめ細かな施策を展開し、子どもが生き生きと育つまちづくりを推進します。



ここに注目 未来へはばたけ！ 「夢の教室」

市では、平成25年に公益財団法人日本サッカー協会（JFA）と協定を結び、市立小学校19校の5年生全クラス対象の「夢の教室」を実施しています。この教室では、子どもたちがキラキラと輝く夢を持つためのきっかけ作りとなるように、「Jリーグやなでしこリーグを中心としたスポーツの現役選手、OB・OGなどが「夢先生」となり、講義や実技を通じて、子どもたちに「夢を持つことの大切さ」「夢に向かって努力することの大切さ」などを伝えています。自治体が同協会と協定を結び、市の事業として実施するのは県内初であり、実施クラス数は全国最大規模となります。



「夢先生」の一人
サッカー
元日本代表
城彰二氏

ここに注目 小中学校の学校図書館が 生まれ変わりました

新しくなった学校図書館をご存じですか。市では、全小・中学校図書館のリニューアルを進めていて、平成26年度に完了します。専属の図書館司書を全校に配置し、魅力的な空間づくりをしているほか、25年度からは教育委員会に配属された学校図書館スーパーバイザーが各校を回り、経験豊かな助言で図書館教育の充実を進めています。学校図書館にやってくる児童・生徒が大幅に増え、いつも活気にあふれています。



ここに注目 不登校・いじめ問題への取り組み

不登校を含む様々な相談に、特別相談員、心理カウンセラー（臨床心理士）、相談員、スクールソーシャルワーカー（社会福祉士、精神保健福祉士）、専門相談員などが丁寧に対応しています。いじめの根絶を目指し、教職員の研修を充実させ、学校を支援するとともに、いじめ暴力行為防止ポスターコンクールを通して、子どもたち自身の意識を高めています。また、市民に参加を呼びかけ、不登校やいじめを考えるフォーラムを毎年行っています。



平成25年度のポスターコンクール
入賞作品

個別目標 2-1 子どもの健康と安全を守る

- めざす成果 1** 子どもの心身の健康が保たれている ▶ 妊婦健康診査事業、予防接種事業、学校給食食育推進事業など
- めざす成果 2** 子どもの人権と安全な生活環境が守られている ▶ 青少年相談・街頭補導事業、児童生徒安全対策事業など

個別目標 2-2 子どもの生きる力を育む

- めざす成果 1** 子どもが夢や目標をもって学んでいる ▶ 小・中学校図書館教育推進事業、小・中学校地域教育力活用推進事業など
- めざす成果 2** 不登校やいじめの問題が少なくなっている ▶ いじめ・不登校等対策事業、不登校児童生徒援助事業など
- めざす成果 3** 子どもが個性・能力にあった教育を受けている ▶ 教育用コンピュータ整備事業、特別支援教育推進事業、外国人児童生徒教育推進事業など
- めざす成果 4** 子どもが様々な体験をしながら育っている ▶ 放課後子ども教室管理運営事業、こども体験事業、青少年育成事業など

個別目標 2-3 子どもを産み育てやすい環境をつくる

- めざす成果 1** 安心して子育てをしている ▶ 不妊・不育症治療費助成事業、小児医療費助成事業、子育て支援センター運営事業など
- めざす成果 2** 働きながら子育てができている ▶ 保育事業、民間認可保育所運営支援事業、病児保育事業、放課後児童クラブ事業など

ここに注目

～子どもを望む夫婦をサポート～ 不妊、不育症の治療費を助成しています

市では、少子化対策を目的とし、不妊症（妊娠を希望して2年以上夫婦生活を行っていても、妊娠をしない状態）や不育症（妊娠しても流産や死産などを2回以上繰り返し、子どもを授かることができない状態）の治療費の一部を助成しています。

- 一般不妊治療
（タイミング療法、薬物療法、人工授精など）費助成
- 特定不妊治療
（体外受精、顕微授精）費助成
- 専門の医療機関において受けた不育症治療費助成



ここに注目

病児保育室、新たな保育施設の開設で、働く保護者をバックアップ

市では、増え続ける待機児童の解消を図るため、民間認可保育所の整備等を行うことにより待機児童ゼロを目指し、働きながら子育てができる環境整備に努めています。また、児童が病氣中または病気の回復期にあり、保護者が就労している等の理由で自宅での保育が困難な場合、児童を一時的に保育する病児保育室「ほかほか」を市立病院の敷地内に新たに整備し、子育て家庭を支援しています。



大和市病児保育室「ほかほか」